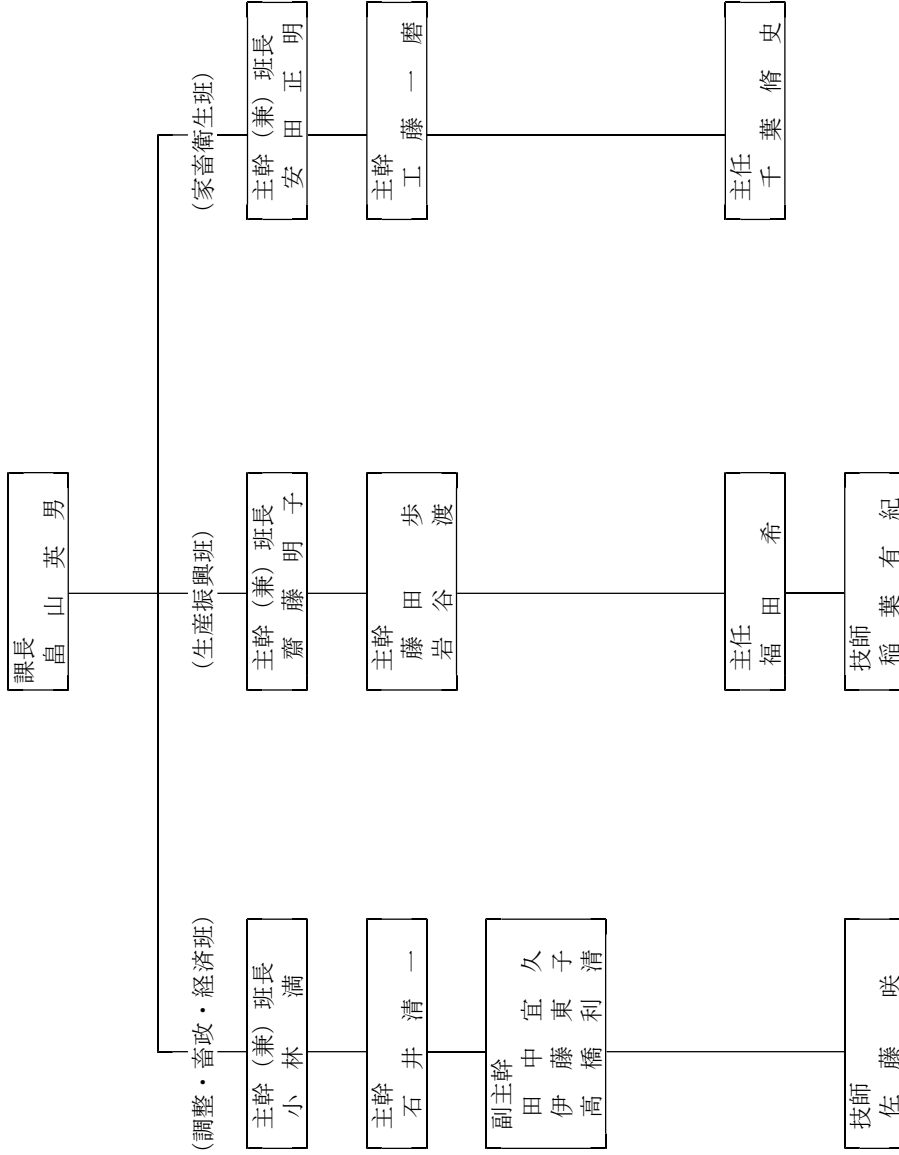


畜產振興課

畜産振興課

(令和4年4月1日現在)



各班の主な所掌事務

(調整・畜政・経済班)

- ・秋田牛ブランドの確立
- ・比内地鶏の振興及び認証制度
- ・畜産クラスター事業
- ・畜産経営安定対策
- ・畜産物の輸出促進
- ・養蜂振興
- ・特用家畜振興(めん羊)

(生産振興班)

- ・肉用牛・酪農の生産振興
- ・大規模肉用牛団地の支援
- ・家畜の改良・増殖、種雄牛造成
- ・畜産公共事業
- ・耕畜連携の推進
- ・飼料作物の増産
- ・畜産関係制度資金

(家畜衛生班)

- ・家畜衛生・家畜伝染病予防
- ・獣医事・葉事
- ・獣医師職員確保対策
- ・家畜排せつ物対策

(農業公社派遣)
主任 馬 祐 介

事業名	畜産環境総合整備事業			担 当	生産振興班	
事業年度	平成22～	事業主体	県	当初予算額	263,656 千円	
事業目的	総合的な畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物のリサイクルシステムを構築することにより、畜産に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化を促進するとともに、良質な堆肥を耕種農家等へ還元し、地域農業の持続的な発展を図る。			財源内訳	国庫	243,215 千円
					一般	20,441 千円
実施内容	1 事業実施計画策定事業 10,000千円 (◎5,000千円、⊖5,000千円)					
	<p>令和5年度から実施を計画している地区での施設整備等に向けて、事業実施計画の策定等を実施する。</p> <p>(1) 策定地区 由利本荘2期地区</p> <p>(2) 策定主体 県</p> <p>(3) 策定内容 家畜排せつ物処理施設等の整備計画</p> <p>(4) 事業費 10,000千円 (うち委託費：農業公社9,626千円)</p> <p>(5) 補助率 国1/2、県1/2</p> <p>(6) 事業計画</p> <p>①事業実施年度 令和4年度</p> <p>②事業実施地区 由利本荘市</p> <p>③事業内容 既存施設のストックマネジメント (堆肥処理施設、尿浄化処理施設)</p>					
実施内容	2 畜産環境総合整備事業 253,656千円 (◎238,215千円、⊖15,441千円)					
	<p>将来にわたり畜産主要産地として発展が期待される地域において、総合的な畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物のリサイクルシステムを構築することにより畜産に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化を促進し、併せて、家畜排せつ物のリサイクルにより生産された良質な堆肥を耕種農家へ還元し、地域農業の持続的な発展を図る。</p> <p>(1) 実施地区 美郷2期地区 (美郷町)、美郷3期地区 (美郷町)</p> <p>(2) 実施期間 美郷2期地区：令和3～4年度、美郷3期地区：令和4～7年度</p> <p>(3) 事業内容</p> <p>①美郷2期地区</p> <p>ア 水質汚染防止基盤整備、発酵処理施設整備、脱臭装置、測量設計</p> <p>イ 事業実施主体事務費 (農業公社)</p> <p>ウ 県事務費</p> <p>②美郷3期地区 (ストックマネジメント)</p> <p>ア 浄化処理施設、測量設計</p> <p>イ 事業実施主体事務費 (農業公社)</p> <p>ウ 県事務費</p> <p>(4) 補助率 事業費 国50%以内、公社事務費 県10/10以内</p>					

事業名	畜産制度資金融通助成事業		担当	生産振興班	
事業年度	昭和63～	事業主体	融資機関（農協）等	当初予算額	187千円
事業目的	畜産農家に制度資金を融通した融資機関に対して、利子補給金を交付し農家負担を軽減することにより畜産農家の経営の安定を図るとともに、保証の円滑化を促進するため、代位弁済する保証機関に対し、助成を行う。		財源内訳	一般	187千円
実施内容	1 畜産経営改善支援資金特別融通助成事業		5千円（◎5千円）		
	（1）畜産経営改善支援資金				
	①対象となる貸付 平成14～15年度分（利子補給期限：令和5年度）				
	②貸付条件 償還期間15～25年（うち据置期間3～5年）、利子補給率0.12%				
	③利子補給見込額 4,436円（県→融資機関）				
	④利子補給対象金融機関数 1JA				
	2 特別支援資金利子補給事業		148千円（◎148千円）		
	（1）畜産経営維持緊急支援資金				
	①対象となる貸付 平成21～22年度分（利子補給期限：令和17年度）				
	②貸付条件 償還期間15～25年（うち据置期間3～5年）、利子補給率0.06%				
③利子補給見込額 120,808円（県→融資機関）					
④利子補給対象金融機関数 5JA					
（2）畜産経営改善緊急支援資金					
①対象となる貸付 平成27年度分（利子補給期限：令和23年度）					
②貸付条件 償還期間15～25年（うち据置期間3～5年）、利子補給率0.06%					
③利子補給見込額 21,600円（県→融資機関）					
④利子補給対象金融機関数 1JA					
（3）大家畜・養豚特別支援資金					
①貸付実行期間 令和4年度～					
②貸付条件 償還期間15～25年（うち据置期間3～5年）、利子補給率0.06%					
③利子補給見込額 5,000円（県→融資機関）					
（令和4年新規貸付分1億円に対する利子補給見込額=100,000千円×0.06%×1/12月=5千円）					
※債務負担行為の設定					
融資元本1億円に対する利子補給金 930千円（令和4～29年度）					
3 県事務費（指導事務費）		34千円（◎34千円）			

事業名	畜産経営改善指導事業		担当	調整・畜政・経済班ほか	
事業年度	平成20～	事業主体	県	当初予算額	16,641千円
事業目的	畜産農家の経営改善を図るとともに、畜産振興に関する諸指導事業を推進する。	財源内訳	使用料	595千円	
			財産	1,453千円	
			諸収入	7,799千円	
			一般	6,794千円	
実施内容	1 畜産振興諸指導事業	12,227千円 (Ⓐ595千円、Ⓑ1,453千円、Ⓒ7,799千円、Ⓓ2,380千円)	畜産振興に係る諸指導事業等に要する経費		
	<歳入内訳>				
	(1) 使用料・手数料	595千円			
	①家畜商免許等手数料5件				
	②みつばち転飼許可手数料245か所				
	③牛A I 師免許証の交付申請手数料10件				
	④家畜市場登録証書換手数料1件、ふ化業者登録手数料1件				
	(2) 財産収入				
	①土地貸付収入 (旧固形粗飼料生産利用試験用地、旧ぶな森牧場用地)				
	(3) 諸収入				
①受託事業収入					
ア 畜産業振興事業補助業務委託					
イ 加工原料乳生産者補給金交付業務委託費					
ウ 肉用子牛生産者補給金等事務委託費					
エ 畜産振興補助事業補助業務委託費					
オ 畜環リース事業推進業務委託費					
カ 種畜検査受託事業収入					
②雑入					
ア 牛E T 師講習会受講料					
イ 雇用保険料個人負担分					
ウ 大潟村土地改良区負担金					
2 自給飼料対策指導事業	451千円 (Ⓐ451千円)	(1) 地域に適した草種・品種の選定のための調査、奨励品種の展示ほ等を使った技術指導等を実施			
		(2) 飼料安全法に基づいた立入調査・巡回指導及び流通飼料の検査を実施			
3 畜産経営改善促進事業	3,963千円 (Ⓐ3,963千円)	畜産農家の経営体質の強化を図るため、経営感覚に優れた効率的で生産性の高い経営体の育成を推進する。			
		(1) 実践支援チームの組織化と畜産経営に対する支援指導の実施			
		①実践支援チーム設置委員会の開催			
		②個別経営体診断指導や相談窓口の設置 等			
		(2) 畜産関係情報のデータベース化と情報提供体制の整備			
		①インターネットなどを活用した各種情報体制の整備			
		②畜産経営と技術情報等のデータベース化			
		(3) 委託先 (公社) 秋田県農業公社			

事業名	比内地鶏生産販売強化事業		担当	調整・畜政・経済班
事業年度	平成20～令和10	事業主体	県	
事業目的	比内地鶏のトップブランドとしての地位確立のため、認証制度を適切に運用するとともに、強化を進めている販路の多角化に向けた事業者の販促活動を支援する。また長期的な生産体制の維持・拡大と生産コストの低減を図るため、初生ひなの新たな性別別法の確立に向けた取組とともに、飼育農家の生産性向上対策を実施する。		当初予算額	9,783 千円
実施内容	<p>1 比内地鶏ブランド強化推進事業 1,065千円 (○1,065千円) 比内地鶏ブランドに対する消費者等の信頼に応え、ブランドの優位性を維持するために立入検査やDNA識別検査等を行い、「秋田県比内地鶏ブランド認証制度」を適切に運用する。</p> <p>(1) 認証制度推進事務 ①申請受付、現地調査、認証票交付等 ②自己点検としてDNA識別の実施 県内認証施設、東京等の店頭からのサンプリング：60検体 ③ブランド認証推進委員会の開催</p> <p>(2) ブランド認証推進協議会の活動推進 総会及び研修会の開催：令和5年3月予定</p> <p>2 販促活動強化事業 5,000千円 (◎5,000千円) 比内地鶏の家庭内消費の拡大や販路の多角化を図るため、県内事業者等が行う販促活動を支援する。 (消費者向けカタログの作成、商流回復に向けた展示会参加、パッケージデザインの検討、生産者によるPR活動、小売店での一斉キャンペーン等)</p> <p>(1) 補助率 1/2以内</p> <p>3 生産性向上対策事業 515千円 (◎515千円) 飼育農家の収益性向上を図るため、技術実証展示圃を設置するとともに、巡回指導を実施する。 (技術実証圃(飼育期間短縮、点灯管理、育成率向上等)を4か所設置)</p> <p>4 羽性鑑別基礎種鶏群作出事業 3,203千円 (◎1,149千円、○2,054千円) 比内地鶏の長期的な生産体制の維持・拡大と生産コストの低減に向けて、初生ひなの性別を羽根の長短により簡易に判別できる素雛を生産するため、種鶏を改良する。</p> <p>(1) 基礎種鶏群作出のための遺伝子解析等 種鶏群が有する羽根の発育性に関与する遺伝子解析等</p> <p>(2) 基礎種鶏群の飼養管理 飼育に要する飼料費等</p>		財源	国庫 5,515 千円
			内訳	財産 1,149 千円
			訳	一般 3,119 千円

事業名	秋田県獣医師職員確保対策事業		担当	家畜衛生班
事業年度	平成22～	事業主体	県、中央畜産会、農業公社ほか	
事業目的	本県の獣医師職員が不足しているため、県内の高校生や獣医系大学の学生及び獣医師免許取得者（以下、学生等という。）に対し、本県への就職を条件とした修学資金の給付や業務の意義・魅力を多方面からPRすることにより学生等を本県に誘引し、職員を確保する。		財源	一般
			当	20,688千円
			初	
			算	
実施内容	1 地域枠産業動物獣医師養成確保事業		7,219千円（○7,219千円）	
	<p>高校3年生（県が選考し、私立獣医大学の地域枠推薦入学試験に合格した者）に対し、本県農林水産部への勤務を条件に修学資金を貸与する。</p> <p>(1) 地域枠獣医師養成確保修学資金</p> <p>家畜衛生対策推進協議会が実施している「獣医師養成確保修学資金貸与事業」を活用し、私立獣医大学の地域枠推薦入学試験に合格した高校3年生に対し、入学前に大学へ納付する入学金等（上限1,750千円）と入学後の修学資金（月額180千円）を事業実施主体と県が各々1/2を負担し、貸付する。</p> <p>①事業実施主体 家畜衛生対策推進協議会（事務局：（公社）中央畜産会）</p> <p>②入学金等（2人）</p> <p>③修学資金（12か月×5人）</p> <p>（H31、R2大学入学生2名、R3大学入学生1名）</p> <p>(2) 高校生に対する産業動物獣医師のPR等</p> <p>県内の高校生に対し農林水産部の獣医師職員の業務や修学資金制度についてPRし活用を推進する。</p>			
	2 獣医師修学資金給付事業		11,880千円（○11,880千円）	
	<p>獣医学科に在学している学生に対し、本県勤務を条件に修学資金を貸与する。</p> <p>(1) 産業動物獣医師修学資金の貸与</p> <p>（公社）秋田県農業公社の「産業動物獣医師修学資金貸与事業」を活用し、月額180千円を上限に、事業実施主体と県が各々1/2を負担し貸与する（農林水産部への勤務を希望する者を対象とする）。</p> <p>①事業実施主体 （公社）秋田県農業公社</p> <p>②修学資金（12か月×5人）</p> <p>(2) 獣医学生修学資金の貸与</p> <p>「秋田県獣医学生修学資金貸与条例」により、本県への就職を条件として、月額180千円を上限に修学資金を貸与する。</p> <p>①事業実施主体 県</p> <p>②修学資金（12か月×3人）</p>			
	3 受験者確保対策事業		1,460千円（○1,460千円）	
	<p>獣医大学の学生等に対し獣医師職員の業務の意義や魅力を多方面からPRし、本県への就職を誘引する。</p> <p>(1) インターンシップ参加支援（職場実習受入）</p> <p>(2) 獣医系大学への事業PR</p> <p>(3) 採用試験の実施</p> <p>(4) 高校生向け体験研修（2回）</p> <p>(5) 中学生向け出前講座</p> <p>(6) 獣医学生向けPR動画の制作と情報発信</p>			
	4 産業動物臨床獣医師連携体制構築モデル事業		129千円（○129千円）	
	<p>獣医師不足を補うため、家保職員と産業動物臨床獣医師が実施する牛大規模農場の繁殖検診や公共牧場等での衛生検査において、効率的な検診や治療ができる体制を構築する。</p> <p>(1) 牛大規模農場繁殖検診（検診時使用消耗品）</p> <p>(2) 公共牧場等の衛生検査（産業動物獣医師への手当）</p>			

事業名	秋田牛ブランド推進事業		担当	調整・畜政・経済班		
事業年度	令和4～	事業主体	県、ブランド推進協議会		当初予算額	20,882千円
事業目的	オール秋田の県産牛ブランド「秋田牛」の有利販売と全国メジャー化を図るため、県内外における販売力強化に取り組むとともに、タイ及び台湾向け輸出の促進を図る。	財源内訳	国庫	9,219千円		
			一般	11,663千円		
実施内容	1 秋田牛ブランド推進事業		10,189千円 (◎3,835千円、◎6,354千円)			
	県内外において秋田牛の販売力強化を図るとともに、品質向上によるブランド力の強化に取り組む。					
	(1) 首都圏等県外における販売力強化 県外の大手食肉事業者等を対象としたトップセールス、量販店におけるキャンペーン、量販店バイヤー・精肉担当者等を対象とした産地招聘等の実施					
	(2) 県内事業者の販売力強化 県内事業者等による販路拡大、新商品開発及びPRに係る取組等について支援 ①事業主体 民間事業者、秋田牛ブランド推進協議会 ②補助率 1/2以内					
(3) 認知度向上対策 ①学校給食における秋田牛の食育、PRに係る取組について支援 ア 事業主体 秋田牛ブランド推進協議会 イ 補助率 1/2以内 ②鹿児島全共「全国銘柄牛PRコーナー」における秋田牛PR						
(4) 秋田牛の品質向上によるブランド力の強化 ①秋田牛枝肉共励会の開催(年2回:夏季、冬季) ②肉用牛情報(秋田牛便り)の発信等						
2 秋田牛輸出促進事業		5,309千円 (◎5,309千円)				
(1) タイ向け輸出の拡大対策 ①現地レストラン、観光関係者等を招聘した試食会の開催(1回) ②飲食店等での秋田牛フェアの開催(5店舗)						
(2) 台湾向け輸出量の拡大・定着 ①高級スーパーやレストラン等での販売促進キャンペーンの実施(16店舗) ②輸出量拡大に向けた一頭単位での販売のテストマーケティング(3頭) ③現地観光イベント等におけるPR(2回)						
3 県産畜産物需要拡大強化事業		5,384千円 (◎5,384千円)				
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、秋田牛等の県産畜産物の需要が首都圏において停滞していることから、アフターコロナにおけるV字回復を見据え、著名なホテル等において県産畜産物を活用したフェアを実施し、需要拡大と認知度向上を図る。						
(1) 県産畜産物需要拡大強化事業 首都圏のホテル等におけるフェアの企画運営・PR(3施設)						

事業名	秋田牛生産総合対策事業		担当	生産振興班ほか
事業年度	平成30～令和4	事業主体	県、あきた総合家畜市場、他	
事業内容	本県肉用牛の生産拡大とブランド力強化に向け、生産基盤となる遺伝的能力向上と肉用牛生産者の意欲向上に総合的に取り組み、令和4年に鹿児島県で開催される全国和牛能力共進会での上位入賞に向けた出品対策を推進し、肉用牛産地としての全国評価向上を図る。		当初予算額	73,473 千円
事業目的	財源内訳	財産	13,605 千円	
		諸収入	975 千円	
		一般	58,893 千円	
実施内容	1 肉用牛改良・増産意欲向上事業	1,396千円 (○1,396千円)		
	(1) 繁殖農家と肥育農家が連携した取組の推進			
	①繁殖・肥育連携肉用牛推進会議 3か所			
	②推進チームによる重点指導			
	(2) 肉用牛改良・増産意欲の向上対策			
	①畜産共進会への出品意欲向上対策 1回			
	②「あきたの畜産・市場まつり」の開催支援			
	2 繁殖雌牛資質向上事業	41,948千円 (◎13,605千円、◎975千円、○27,368千円)		
	(1) 優良繁殖雌牛の保留支援			
	①子牛の市場調査及び庭先調査による優良雌牛の早期発掘			
	②優良繁殖素牛の確実な県内保留奨励 対象40頭、保留推奨金100千円/頭			
	(2) 受精卵の安定供給と繁殖技術向上支援			
	①受精卵移植の推進 受精卵180個			
	②繁殖技術の向上支援 県有牛飼養管理委託38頭			
	3 種雄牛造成事業	11,972千円 (○11,972千円)		
	(1) 産肉能力と種牛性を兼ね備えた種雄牛の造成			
	①産肉能力検定			
	ア 種雄牛候補3頭			
	イ 現場後代検定(後代検定2セット、調整交配2セット)			
	②牛肉中のオレイン酸含量等、新たな指標による基礎牛の選定及び候補種雄牛の選抜			
	(2) 新技術による効率的な作出法の検討			
	ゲノム育種価の活用			
	4 全共出品技術向上事業	18,157千円 (○18,157千円)		
	(1) 種牛の部出品技術向上の取組			
	①調教技術講習会の開催			
	②飼養管理技術研修会の開催			
	(2) 肉牛の部出品技術向上の取組			
	①全共肉牛の部出品牛の調査			
	ア 発育調査、血液検査、生体内脂肪交雑診断等4回			
	イ 脂肪酸ゲノム育種価解析35頭			
	(3) 全共出品対策の支援			
	①全共出品に係る経費の助成(出品牛の輸送費等:補助率1/3)			
	②県負担金 14頭分			
	③出席旅費			
	(4) 県有種雄牛のPR及び高位平準化の取組への支援			
	①全共会場での県有種雄牛のPR			
	②秋田牛の高位平準化の必要経費に対する助成			
	ア 上位入賞牛の購入(7頭:補助率1/4)			
	イ 肥育技術の高位平準化研修会の開催			
	③全共成績報告会の開催			

事業名	肉用牛肥育経営維持拡大対策事業		担当	生産振興班
事業年度	平成26～令和6	事業主体	農業協同組合等	当初予算額
				9,032 千円
事業目的	子牛価格や配合飼料価格の高騰による肥育農家の負担軽減を図るため、JA等が行う肥育牛預託の無利子化等への取組に対し支援する。		財源内訳	一般
				9,032 千円
実施内容	子牛価格や配合飼料価格の高騰による肥育農家の負担軽減を図るため、JA等が行う肥育預託の無利子化への取組に対し支援する。			
	<p>1 事業主体 9農協等（JAかづの、JA秋田なまはげ、JA秋田しんせい、JA秋田おぼこ、JA秋田ふるさと、JAこまち、JAうご、県畜協、県家畜商協）</p> <p>2 利子補給率 1/2以内</p> <p>3 補給対象及び補給額</p> <p>①令和4年度補助金交付・・・預託牛の販売等により預託代金の精算で確定した利子補給額</p> <p>ア 令和2年度預託開始、令和4年度精算分（利子率1.7%を補助上限とする） $510\text{頭} \times 800\text{千円} \times 1.7\% \times 20/12\text{月} \times 1/2 = 5,780\text{千円}$</p> <p>イ 令和3年度預託開始、令和4年度精算分（利子率1.7%を補助上限とする） $270\text{頭} \times 850\text{千円} \times 1.7\% \times 20/12\text{月} \times 1/2 = 3,252\text{千円}$</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【債務負担行為の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度預託開始、令和5年度精算分（利子率1.7%を補助上限とする） $440\text{頭} \times 900\text{千円} \times 1.7\% \times 20/12\text{月} \times 1/2 = 5,610\text{千円}$（令和5年度事業費） ・令和4年度預託開始、令和6年度精算分（利子率1.7%を補助上限とする） $610\text{頭} \times 950\text{千円} \times 1.7\% \times 20/12\text{月} \times 1/2 = 8,210\text{千円}$（令和6年度事業費） <p style="text-align: center;">計 13,820千円</p> </div> <p>②発動要件 四半期ごとに発動を判断。当該四半期の直近12か月の平均子牛価格が発動基準を上回った場合に発動。</p> <p>③発動基準 520千円（価格高騰前(平成25年度)の子牛の平均価格)</p>			

事業名	あきたの酪農推進対策事業		担 当	生産振興班
事業年度	平成30～	事業主体	県、JA全農あきた等	当初予算額
事業内容	酪農経営の体質強化と生乳生産の維持拡大のため、牛群改良を推進するとともに、高能力後継牛効率的に確保する取組を支援する。また、酪農家の労働負担軽減を図るため、酪農ヘルパー利用組合の組織再編および利用拡大を推進する。		財源内訳	2,723 千円
実施内容	<p>1 酪農生産性向上対策事業 1,841千円 (⊖1,841千円)</p> <p>生乳の生産量や乳質、飼養管理技術の向上を図るため、牛群検定の取組を支援するとともに、牛群検定情報の分析やデータの活用を促進し、牛群の改良を推進する。</p> <p>(1) 牛群検定推進事業</p> <p>牛群検定の取組に対する支援</p> <p>①事業主体 全国農業協同組合連合会秋田県本部</p> <p>(2) 酪農生産性向上支援事業業務委託</p> <p>牛群検定データの分析及び分析情報を活用した指導等</p> <p>①委託先 日本ホルスタイン登録協会秋田県支部</p> <p>2 酪農経営確立支援事業 600千円 (⊖600千円)</p> <p>酪農経営の体質強化と生乳生産の拡大を図るため、遺伝的能力評価の推進により牛群の改良を加速化する。</p> <p>(1) 遺伝的能力向上推進対策</p> <p>①事業主体 日本ホルスタイン登録協会秋田県支部</p> <p>②助成対象 ゲノミック評価に係るSNP検査の実施に要する経費 (200頭分)</p> <p>③補助率 1/3以内</p> <p>3 酪農ヘルパー利用推進事業 282千円 (⊖282千円)</p> <p>酪農ヘルパー利用組合の組織再編と利用拡大のため、研修会を開催する。</p>			

事業名	畜産競争力強化対策事業		担当	調整・畜政・経済班ほか	
事業年度	平成28～令和29	事業主体	畜産クラスター協議会、金融機関		
事業目的	国の畜産競争力強化対策に基づいて、畜産クラスター協議会が策定した「畜産クラスター計画」に位置づけられた中心的な経営体の収益性の向上や畜産環境問題への対応に必要な施設整備を支援する。		財源	国庫	192,840千円
			内訳	一般	393千円
実施内容	1 畜産経営体質強化支援資金利子補給事業		193千円 (⊖193千円)		
	新たな投資を促進するための長期低利資金「畜産経営体質強化支援資金」の融通に必要な地元負担の利子補給について、県・市町村・融資機関の連携により対応する。				
	(1) 令和4年度予算の内容				
	①平成28年度融資分				
	ア 融資実行額 47,667千円 (平成28年11月30日貸付)				
	イ 利子補給額 39千円 (47,667千円×県利子補給額0.08%=38,134円)				
	②平成30年度融資分				
	ア 融資要望額 185,064千円 (平成30年11月30日貸付)				
	イ 利子補給額 149千円 (185,064千円×県利子補給額0.08%=148,052円)				
	③令和4年度融資見込分				
	ア 融資要望額 100,000千円 (令和3年11月末貸付を想定)				
	イ 利子補給額 7千円 (100,000千円×県利子補給額0.08%×1/12か月=6,667円)				
	(2) 債務負担行為の設定				
	融資元本1億円に対する利子補給金 1,240千円 (令和5～29年度)				
実施内容	2 事業計画策定支援事業		200千円 (⊖200千円)		
	大規模畜産団地を整備する経営体への的確なアドバイスを行うため、現地支援会議を開催するとともに、円滑な施設整備を支援する。				
	(1) 実施内容				
	①現地支援会議の開催 (構成：県、市町村、JA等)				
	②経営分析等の実施、経営指導				
	③施設整備等の事業実施に係る支援等				
	(2) 対象地区 秋田地区、由利地区、仙北地区				
	(3) 実施主体 県				
実施内容	3 畜産環境対策総合支援事業		192,840千円 (⊖192,840千円)		
	持続的な畜産物生産に向けた高品質堆肥の広域流通等の推進や、高度な畜産環境対策への取組を支援する。				
	(1) 実施主体 秋田県北地域畜産クラスター協議会				
	(2) 取組主体 株式会社もぐもぐワークス (北秋田市)				
	(3) 事業内容 ペレット堆肥製造加工施設1棟、機械装置一式				
	(4) 事業費 424,249千円 (うち補助金192,840千円)				

事業名	若い担い手の和牛力向上支援事業			担当	生産振興班	
事業年度	令和2～	事業主体	県	当初予算額	11,729千円	
事業目的	規模拡大や新規就農などにより飼養管理に不安を持つ若い担い手のフォローアップと繁殖能力の高い「ふくはな5」系統の雌牛の増殖による生産性の向上を図り、本県の肉用子牛の生産基盤を強化する。			財源	財産	1,800千円
					一般	9,929千円
実施内容	1 若い担い手のフォローアップ事業 961千円 (◎961千円)					
	(1) 若い担い手への重点指導（繁殖、衛生）による早期経営安定 繁殖及び衛生管理技術向上の支援（繁殖検診等の巡回指導） (2) 「あきた牛飼い塾」開催等による若い担い手のスキルアップ 大規模モデル経営体等重点指導					
実施内容	2 秋田のオリジナル系統（ふくはな5）の普及拡大事業 10,768千円 (◎1,800千円、◎8,968千円)					
	(1) 「ふくはな5」系統雌牛の導入 県内で飼養されている「ふくはな5」系統の雌牛導入4頭 (2) 「ふくはな5」系統の飼養管理 ①飼養管理委託12頭（委託先：（公社）秋田県農業公社） ②受精卵移植の推進					

事業名	食肉・食鳥処理施設緊急環境整備事業			担当	調整・畜政・経済班	
事業年度	令和4	事業主体	食肉処理業者、比内地鶏食鳥処理業者	当初予算額	81,709千円	
事業目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、食肉の需要が大きく変動しており、感染症の収束が見通せない中、今後も県産の食肉生産の維持・拡大を図るため、県内食肉・食鳥処理施設での省力化、効率化、機能強化に必要な施設整備を支援する。			財源	国庫	81,709千円
実施内容	1 食肉処理場施設整備事業 57,050千円 (◎57,050千円)					
	(1) 助成対象 高品質・省力化生産のための真空包装機、チョップカッター、凍結機の設置等 (2) 事業費 114,100千円（税抜） (3) 補助率 1/2以内 (4) 事業主体 (株)ミートランド、(有)日野					
実施内容	2 食鳥処理場施設整備事業 24,659千円 (◎24,659千円)					
	(1) 助成対象 高品質・省力化生産のための急速凍結庫、連続式容器洗浄機、冷凍庫、真空包装機等の設置等 (2) 事業費 49,319千円（税抜） (3) 補助率 1/2以内 (4) 事業主体 (株)本家比内地鶏、JA秋田たかのす、秋田三鶏実業(有)、(株)田園					

事業名	肉用牛生産性向上対策事業			担当	生産振興班	
事業年度	令和3～5	事業主体	J A秋田おばこ畜産青年部、県等	当初予算額	4,760 千円	
事業目的	本県肉用牛の生産性向上を図るため、肥育農家の求める市場出荷子牛の斉一化を推進するとともに、ICTを活用した放牧による経営の安定化、及び牛伝染性リンパ腫の感染拡大を防止する対策を実施する。			財源	国庫	275 千円
					一般	4,485 千円
実施内容	1 市場上場子牛の斉一性向上対策事業 1,200千円 (○1,200千円) 近年、家畜市場に上場される子牛に過肥などバラツキが多くなっている中、肥育農家が求める斉一性の高い子牛を増やし生産性の向上を図るため、家畜市場に上場する子牛の適正体重出荷に向けた取組に対し支援する。 (1) 助成対象 検討会、講習会等の開催、畜産試験場と連携した強化哺育による子牛の育成 (2) 実施主体 J A秋田おばこ畜産青年部会 (3) 補助率 1/2以内					
	2 ICT放牧牛管理システム実証事業 1,699千円 (○1,699千円) 公共牧場での放牧利用による経営の安定化を図るため、管理の省力化と授精適期の確認を効率的に実施できる放牧牛管理システムについて実証する。 (1) 実証内容 ①通信牧区エリアカバー率及び電波安定性 ②見回り時間短縮による省力効果 ③発情管理の可能性 ④費用対効果 ⑤成果検討会の開催 (2) 実証場所 川島牧野 (鹿角市) (3) 実証頭数 15頭 (4) 委託先 民間企業					
	3 牛伝染性リンパ腫感染防止対策事業 1,861千円 (◎275千円、○1,586千円) 近年、全国的に増加傾向にある牛伝染性リンパ腫 (旧：牛白血病、届出伝染病) の感染拡大を防止するため、本病への意識の高い農家をモデル農家と位置づけ、農場の清浄化手法の普及を図る。 (1) 侵潤状況把握のための検査の実施 ①抗体検査 (15農場、延べ80頭/農場) ②高リスク牛の特定 (2) 感染防止対策 ①牛舎内における感染防止のための防虫ネットの設置 ②初乳の不活化処理に必要な加温装置等の導入					

事業名	夢ある畜産経営ステップアップ支援事業【地域活性化対策基金】		担 当	生産振興班	
事業年度	令和4～7	事業主体	認定農業者（法人、個人）、認定就農者等	当初予算額	
				170,047 千円	
事業目的	複合型生産構造の転換を加速するとともに、中山間地域等条件不利地での畜産を核とした地域活性化を図るため、意欲ある農業者のステップアップに必要な取組について、重点的に支援を行う。		財源内訳	国庫	28,224 千円
				繰入金	141,823 千円
実施内容	1 夢ある畜産経営ステップアップ支援事業		170,047千円（㊸28,224千円、㊹141,823千円）		
	収益性の高い畜産経営体を育成するため、幅広いメニューで総合的な支援を行う。				
	(1) 実施内容				
	①秋田牛の増頭に向けた繁殖雌牛や肥育牛の導入、施設整備等の取組				
	ア 施設整備等				
	イ 繁殖牛導入、肥育牛導入				
	②スマート農業による省力化・効率化に向けた取組				
	③乳用初妊牛の導入による泌乳能力向上に向けた取組				
	④比内地鶏生産拡大に向けた取組				
	ア 飼養管理施設整備				
	イ 機械・資材導入				
	⑤耕畜連携の推進と自給飼料の生産拡大の取組				
	ア 自給飼料生産拡大				
	(ア) 機械導入				
	(イ) 草地整備改良				
	イ 耕畜連携				
	(ア) 堆肥舎整備				
	(イ) 堆肥散布機械導入				
	⑥新規就農者の就農計画実現に向けた取組				
	(2) 実施主体				
	①～④、⑥ 認定農業者、認定就農者又は畜産クラスター計画の中心的経営体				
	⑤ア 機械共同利用集団				
	イ 耕畜連携集団				
	(3) 補助率				
	①ア、②、④、⑤ 1／3以内				
	①イ 197千円又は80千円（定額）				
	③ 220千円（定額）				
	⑥ 農家出身者は1／3以内、非農家出身者は1／2以内				

事業名	草地畜産基盤整備事業			担当	生産振興班	
事業年度	平成22～	事業主体	県	当初予算額	30,003千円	
事業目的	中山間地域等において、林地、野草地及び草地等の農用地を畜産的土地利用体系に再編整備し、草地造成改良や牛舎等の整備を行うことにより飼料自給率の向上と経営の拡大を図る。			財源内訳	国庫	27,700千円
					一般	2,303千円
実施内容	1 草地整備型公共牧場整備事業 30,003千円 (◎27,700千円、◎2,303千円)			地域資源である草地基盤を整備し、草地整備改良やパドック等の整備を行うことにより、飼料自給率の向上と肉用牛・乳用牛の生産拡大による地域活性化を図る。		
	(1) 実施地区 三種地区(三種町)、仙北地区(仙北市) (2) 実施期間 三種地区：令和2～5年度、仙北地区：令和3～6年度 (3) 事業内容 ①三種地区 ア 草地整備改良、測量設計 イ 事業実施主体事務費(農業公社) ウ 県事務費 ②仙北地区 ア 草地造成改良、草地整備改良、測量設計 イ 事業実施主体事務費(農業公社) ウ 県事務費 (4) 補助率 事業費 国50%以内、公社事務費 県10/10以内					
【明許繰越】 ○ 草地林地総合整備型事業 86,823千円 (◎82,308千円、◎4,515千円) 中山間地域等において、林地、野草地及び草地等農用地を畜産的土地利用体系に再編整備し、草地改良や牛舎等の整備を行うことにより飼料自給率の向上と経営の拡大を図る。 (1) 実施地区 羽後2期地区(湯沢市・羽後町) (2) 実施期間 平成30年度～令和3年度 (3) 事業内容 ①草地造成改良、畜舎1棟、堆肥舎1棟 ②事業実施主体事務費(農業公社) (4) 補助率 事業費：国55%以内、公社事務費：県10/10以内						

事業名	家畜保健衛生・安全対策推進事業			担当	家畜衛生班	
事業年度	昭和26～	事業主体	県、(公社)秋田県農業公社	当初予算額	63,003千円	
事業目的	家畜伝染性疾患の発生予防・まん延防止対策、畜産環境保全対策及び獣医事・薬事監視指導を行うことにより、本県畜産の生産性の向上と安全・安心な畜産物の生産を図る。			財源内訳	国庫	16,802千円
					その他	4,698千円
					一般	41,503千円
実施内容	1 家畜伝染病予防事業 21,041千円 (◎4,157千円、◎13,519千円、◎3,365千円)					
	<p>(1) 家畜伝染病予防法に基づく検査等を行い、家畜伝染病の発生予防及びまん延防止を図る。</p> <p>①検査対象家畜 牛、馬、羊、豚、鶏、みつばち</p> <p>②検査対象疾病等 ヨーネ病、BSE、牛伝染性リンパ腫、豚熱、アフリカ豚熱、PRRS、オーエスキー病、鳥インフルエンザ、ニューカッスル病、ふそ病等</p> <p>(2) 生産者からの依頼に基づく検査を行い、伝染性疾患の発生予防と生産性向上を図る。 放牧衛生検査、オーエスキー病検査、ふそ病検査、病理解剖等</p> <p>(3) 自衛防疫強化対策事業 家畜伝染性疾患の発生を未然に防止するため、組織的に行う予防接種に要する経費に対し助成する。</p> <p>①交付先 (公社)秋田県農業公社</p> <p>②事業内容</p> <p>ア 牛伝染性疾患発生予防 牛伝染性鼻気管炎発生予防(4,270頭)、牛アカバネ病発生予防(5,500頭)</p> <p>イ 豚伝染性疾患発生予防 豚丹毒発生予防(47,000頭)</p> <p>ウ 鶏伝染性疾患発生予防 ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎発生予防(15,000千羽)</p>					
	2 家畜衛生技術総合推進事業 3,562千円 (◎396千円、◎1,385千円、◎1,781千円)					
<p>(1) BSE検査体制の強化</p> <p>(2) 飼養衛生管理基準等の推進、普及、啓発</p> <p>(3) 家畜衛生関連情報の収集</p> <p>(4) 精度管理体制の確立</p> <p>(5) 家畜伝染病まん延防止のための会議参加等</p> <p>(6) 薬剤耐性菌の発現状況調査</p> <p>(7) 獣医事、薬事監視指導</p> <p>(8) 畜産環境保全巡回指導</p>						
3 家畜保健衛生所管理運営費 38,400千円 (◎1,898千円、◎115千円、◎30千円、◎36,357千円)						
<p>(1) 家畜保健衛生所の管理運営に要する経費</p> <p>(2) 機器整備 低温恒温器</p>						

事業名	CSF等緊急防疫対策事業			担当	家畜衛生班	
事業年度	令和2～	事業主体	県	当初予算額	678,344千円	
事業目的	豚熱およびアフリカ豚熱の発生に備え家畜保健衛生所の検査体制や迅速な初動防疫体制、豚熱発生予防のためワクチン接種体制を整備し、本県養豚産業の安定的な振興を図る。			財源内訳	使用料	41,830千円
					国庫	320,318千円
					一般	316,196千円
実施内容	1 検査体制整備事業			1,833千円 (◎844千円、○989千円)		
	国の豚熱等に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、野生イノシシの豚熱等の検査を行うとともに、野生イノシシに経口ワクチン散布を実施する。					
	(1) 捕獲野生イノシシからの検査材料の採取					
	(2) 野生イノシシの豚熱、アフリカ豚熱の遺伝子及び抗体検査					
	(3) 野生イノシシへの経口ワクチン散布					
実施内容	2 まん延防止対策事業			2,184千円 (◎478千円、○1,706千円)		
	(1) 空港におけるウイルス侵入防止対策 秋田空港及び大館能代空港で乗客の靴底消毒を実施					
	(2) 防疫備蓄資材の確保 炭酸ガス容器の保管、点検					
	3 予防ワクチン接種緊急対策事業			88,670千円 (◎41,830千円、◎40,142千円、○6,698千円)		
	飼養豚での豚熱発生を予防するため、豚熱ワクチンを接種する体制の維持と新たなワクチン接種体制の構築(知事認定獣医師によるワクチン接種)。					
実施内容	4 特定家畜伝染病防疫対策事業			585,657千円 (◎278,854千円、○306,803千円)		
	豚熱、高病原性鳥インフルエンザなど特定家畜伝染病の発生に備え、防疫措置に係る経費を確保。					
	(1) 発生農場における防疫措置に係る資材、消毒及び埋却に係る経費					
	(2) 制限区域内の消毒ポイント設置、運営に係る経費					
	(3) 県内畜産農家の緊急消毒のための消毒薬の配布					

事業名	獣医療緊急検査体制整備事業			担当	家畜衛生班	
事業年度	令和2～4	事業主体	県	当初予算額	1,983千円	
事業目的	家畜保健衛生所における家畜重要疾病の防疫業務等を強化するため、業務の省力化等に必要な検査機器等を整備する。			財源内訳	国庫	1,983千円
実施内容	1 検査機器等整備事業			1,983千円 (◎1,983千円)		
	家畜保健衛生所における家畜重要疾病の防疫業務等を強化するため、業務の省力化等に必要な検査機器等を整備する。					
実施内容	(1) 導入機器 高速冷却遠心機1台、振とう機構一体化恒温水槽1台、顕微鏡撮影装置2台					

